

令和6年度 シラバス

| | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----|--------------|----|------|----------|----------------|
| 教科 | 商業 | 科目 | ビジネス法規 | 学年 | 第3学年 | 学科 類型 | 商業科 情報ビジネス科 |
| 単位数 | 3単位 | 教科書 | ビジネス法規(実教出版) | | | | |
| 副教材 | ビジネス法規問題集(実教出版) | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>1 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>2 経済活動の中で法がどのような役割を果たしているのか理解するとともに、ビジネスに関わる法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、法に基づいて考え、判断する能力と態度を養います。</p> |
|------|--|

| | |
|-----------|--|
| キャリア教育の視点 | <p>ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法に基づいて考え、適切に判断して行動する能力と態度を養います。</p> |
|-----------|--|

| | | 学習計画及び内容 | | 考 査 |
|-------------|-----|---------------|--|-------|
| 1 学 期 | 4月 | 第1章 法の概要 | <p>経済活動や社会規範において占める法の意義を体系的に理解していきます。</p> <p>権利・義務の主体としての自然人について理解を深めます。</p> <p>契約当事者の不法行為や時効の各関係について、経済活動の具体的な事例を用いて、法規と関連付けて学習します。</p> | 中間考査 |
| | 5月 | 第2章 権利・義務と財産権 | | |
| | 6月 | 第3章 財産権の変動 | | 期末考査 |
| | 7月 | | | |
| 2 学 期 | 8月 | 第4章 企業活動と法規 | <p>株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離、株式会社の責任について、法規と関連付けて理解をしていきます。</p> <p>法令遵守と説明責任の意義と重要性について学び、具体的事例を関連付けて分析し考察していきます。</p> <p>公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解していきます。</p> | 中間考査 |
| | 9月 | | | |
| | 10月 | 第5章 企業責任と法規 | | 期末考査 |
| | 11月 | 第6章 紛争の解決と予防 | | |
| 3 学 期 | 1月 | 第7章 税と法規 | <p>国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税など法人に対する税の概要について学習していきます。</p> | 学年末考査 |
| | 2月 | | | |
| | 3月 | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の方法 | <p>学習についての概要を説明し、目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行います。また、單元ごとに小テストを行い、学習の定着度を確認しながら授業を進めていきます。</p> <p>学習をただ知識として知るだけでなく、調べたり考えたりしたことを話し合ったり、資料をまとめたり、発表したりすることで、論点を深め、より深い学びにつなげるようにします。</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|---|
| 評価の仕方 | <p>1 知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、課題や提出物(レポート)小テスト、授業態度などを総合的に評価します。</p> <p>2 思考・判断・表現力は、習得した知識や技術を既有的知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、よりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。</p> |
|-------|---|

| | |
|----|--|
| 備考 | <p>授業の中でタブレット端末を活用した調べ学習を取り入れています。</p> |
|----|--|